



いきいき

子育て支援の会員増やし、会の発展を

子育て支援のグループ「メロンキッズ」の4代目会長に就任した江部かおりさん。「お母さん方が安心して一時預かりさせてもらえる体制の充実を図るため、もっと会員を増やしたい」と話していました。



江部かおりさん (若葉町 48歳)

初からのメンバーみたいなものです」「会長は2年任期で、私は4代目となります。現在メンバーは27人いますが、各種イベントの託児などに必ず多くの人が出られる訳ではないですし、季節によって、サポートする人が極端に少なくなることもあり、もっとメンバーを増やしたいと考えています。メンバーを増やすことで会の活動をより活発にしたいです」

「地域の子育て支援強化などを目的としている会の活動としては、総会やメンバーの交流会はじめ、今年度は、子育て支援センターと共催の講演会開催やエアロビクス教室も開き、若い世代のお母さんを招いての会員拡大PR活動を展開していきます」

「託児については、子育て支援センターが開設されるまでは、利用が少なかったのですが、平成22年にセンターができてからは、託児場所などとして利用しやすい面があるのか、急激に利用が増えました。小さな子どもとの触れ合い、若いお母さんとの交流など楽しんでおり、さまざまな形でメロンキッズを発展させたいですね」



健康管理から介護予防まで

シリーズ⑮

運動・栄養・休養

町では、平成23年度から前立腺がん検診を実施しています。前立腺は、男性のぼうこうの下にあるクルミ大の器官で、ぼうこうの出口にあつて尿道を取り巻いています。そのため、がんになると排尿に影響します。前立腺がんは高齢になるほど多くなり、日本では70歳以上で2〜3割、80歳を超えると3〜4割の人が前立腺がんを発症していると言われています。

“前立腺がん検診のお知らせ”

- 検診の対象者 50歳以上の訓子府町に住所を有する男性
■ 検診日 7月30日・31日・8月1日・12月9日・10日・平成25年1月29日・30日
■ 受付時間 ①7時②8時③9時④10時
■ 自己負担額 1,000円
■ 検診内容 問診および血液検査(PSA)
※PSAは、前立腺がんになると血液中に増加する物質で、PSAが高いほど前立腺がんが疑われます。ただし、PSA値が高ければ、必ずがんであるというわけではありません。あくまでも前立腺がんを発見するきっかけとなる一つの指標です。異常があった場合は、精密検査として泌尿器科を受診し、直腸検査やエコー検査などを実施し、確定診断を行います。

今月の担当 保健師 大里 和美

介護・支援・予防

わたしたちの国民年金

国民年金保険料の納付が困難なときは

申請により保険料が免除される制度があります。ただし、本人のほか連帯して保険料の納付義務がある配偶者、世帯主の前年所得が一定基準以下である必要があります。また、学生納付特例免除を申請する場合は、本人の前年所得のみが審査されます。

なお、所得税法などの改正により今年度から、本人、配偶者、世帯主のそれぞれに16歳以上19歳未満の扶養親族がいるときは、その氏名と生年月日を明らかにする「扶養親族に関する申立書」の提出が必要となりました。これは審査における

所得額の基準を定めるときに反映されます。申請される方は、印鑑と年金手帳を持参してお越しください。

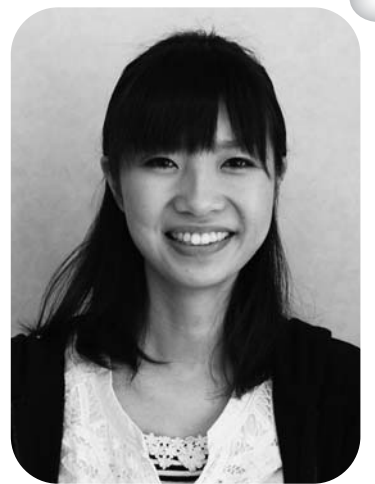
注) 免除の承認を受けた際、全額免除、学生納付特例制度、若年者納付猶予制度以外に該当した方は、納付すべき一部の保険料を納付しないと未納期間となりますので、必ず納付してください。

平成23年7月～24年6月分の申請の受付は、今月末までです。

○ 問合せ 町民課戸籍年金係 (☎47-2203 役場1階 窓口1番)

保険料納付は便利な口座振替で

くねっがフアン



渡部 亜美さん (栄町 22歳)

トルコに旅行したいです

今月は、北見市内の病院で歯科衛生士として勤めている渡部亜美さんにお話をうかがいました。「子どものころから歯科医院の雰囲気が好きで、札幌市の専門学校で歯科衛生士の資格を取得して、平成22年4月から現在の職場で働いています。手術のアシスタントや患者さんへの配慮、気配りなど大変なこともありますが、退院されるときにきれいな歯を見せて、笑顔で感謝されたときは、この仕事に就いて良かったと感じます」